



# フィリピン研修旅行報告



～ 行ってきました！自然の奇跡 フィリピン群島へ ～

## 「吉野先生と行くフィリピン7日間」

企画手配: CAN TOUR

監修: 拓殖大学海外事情研究所教授 吉野文雄

日程 (2004年)

2月15日(日) 朝 成田発 夕方 セブ着、セブ泊

16日(月) 終日 セブ観光(ラプラプ像/道教寺院/  
マゼラン・クロス/サン・アウグスチン教会/  
サン・ペドロ要塞)、セブ泊

17日(火) 午前 企業訪問(2社)  
午後 自由行動、セブ泊

18日(水) 午前 セブ発 マニラ着  
午後 観光(リサール公園/サンチャゴ要  
塞/サン・アグスチン教会)、マニラ泊

19日(木) 午前 JETRO ジェトロ訪問  
午後 観光(パコ公園/高山右近像/スモ  
ーキー・マウンテン)、マニラ泊

20日(金) 終日 自由行動、マニラ泊

21日(土) 午前 自由行動  
午後 マニラ発 成田着、解散

(ツアー代金: 98,000円)



早速、フィリピンの一般的な交通手段であるトライシクル(通称: パタパタ)に挑戦!  
(撮影: 2/15 フィリピン料理を求めて...)

**Point 1:** 観光は、自分たちのリクエストを優先してもらいました。スモキー・マウンテンは圧巻!

**Point 2:** 時間に左右されず、フィリピン感覚でゆったり観光できました。

**Point 3:** 物価が安くてビックリ! 案外、お土産よりも日用品などを買うのがよさそう...

**Point 4:** 企業訪問、JETRO 訪問など、普通の観光ではいけない場所に行けるのは研修旅行ならではの楽しみです。授業で漠然としていたことが理解できるチャンスです。質問など積極的に参加すべし。

**Point 5:** 先生が引率というのはやっぱり何かとプラスです。通常より深みのある旅行になるのは当然ですが、自由行動の際にでてくる疑問(交通手段、金額、手配 など)に、適切な助言が得られます。



セブでの宿泊先はかわいいコテージ風のホテルでした!(上) そこからは海が見えて、朝の散歩に最高の場所でした。(下)  
(撮影: 2/16 目覚めのよい朝に...)





旅行をするにあたって、下調べするのには欠かせないのは、その国ならではの食べ物。念願の「焼きバナナ」を食べました！セブ、カルボン・マーケットにて  
(撮影:2/16 熱いバナナは不思議な味...)



学生の強い希望でマニラ近郊パヤタスのスモーク・マウンテン(巨大なゴミの山)に行ってきました。写真では伝えられないくらいの衝撃を受けました。  
(撮影:2/19 人生観が変わる場所...)



フィリピン資本の会社を訪問。現在のフィリピンの経済状況や今後の展望など、幅広い話を聞くことができました。1日8時間働いて賃金200ペソ(500円くらい)とは、なんとも悲しい現実を見た気がします。  
PRS Technologies, Inc.  
2000年創業。精密部品などを製造。  
(撮影:2/17 考える日...)



自由行動の日、コレヒドール島に行ってきました。マッカーサーの台詞、「I shall return.」で有名な観光地です。日本軍の墓地や慰霊碑などもあり、日本への帰還を夢見た兵士達が眠っています。この悲しい歴史を知るためにも、是非一度は訪れてほしい場所です。マッカーサー像。コレヒドール島にて。  
(撮影:2/20)



日本とフィリピンの友好の証として、高山右近像がありました。しかし道に迷ってフィリピン人に尋ねても誰も知っている人はいませんでした。さがしあてると駅の前でした…。日比関係はまだまだこれからかも、と思わずにはいられてませんでした。マニラにて。  
(撮影:2/19)



最終日、新鮮な魚や果物をその場で選び、好みの調理をしてもらおうという、なんとも豪華な夕食でした！  
(撮影:2/20 日本だったら...)

**1度、東南アジアに**

**行ってみませんか...**